

第 21 回米子市水道事業審議会 会議録

○開催日時 平成 28 年 11 月 21 日(月)
午後 1 時 25 分～午後 3 時 51 分

○開催場所 米子市水道局大会議室

○出席者

委員（敬称略）：住田 篤美・稲田 祐二・和田 季子・中嶋 紀恵
田中 俊行・祝部 大輔・吉居 努・八尾 俊一
中山 寿子・新田 ひとみ・王島 幸子・井藤 津加代
欠席者：小椋あけみ

米子市水道局：中原水道事業管理者・八幡副局長兼計画課長・星野次長兼浄水課長・松田次長兼給水維持課長・金田次長兼総務課長・松田営業課長・松前浄水課長・森井水質管理課長・安村境港営業所長・住田主査兼施設課改良係長・本池主査兼浄水課水源管理係長・湯崎総務課長補佐兼会計係長・山内総務課主幹（事務局）鷺見計画課長補佐兼企画調査係長・白須計画課主幹

○日程

1 議題

(1) 平成 27 年度米子市水道事業会計決算状況について

(2) 配水池設置事業の進捗状況について

(3) 庁舎建設事業の進捗状況について

2 事務連絡

○公開又は非公開の別
公開

○傍聴者数（報道関係者を除く）

1名

○会議資料の有無

有り

○お問合せ先

米子市水道局計画課企画調査係（TEL.0859-32-6112）

1 議題（議題の概要及び質疑）

(1) 平成 27 年度米子市水道事業会計決算状況について

＜案件説明：湯崎総務課長補佐兼会計係長＞

※金額は全て消費税を含まない数値

収益的収支の決算について

水道料金収入及び支出に関する施設の維持管理費、減価償却費について説明。収入総額は 34 億 800 万円、支出総額は 27 億 8,200 万円となり当年度の純利益として 6 億 2,600 万円。

資本的収支の決算について

収入は企業債借入 13 億 7,400 万円、工事負担金 1 億 7,100 万円、その他補助金が 3,400 万円。総収入額は 15 億 7,900 万円。

支出は施設更新に係る建設改良費 18 億 9,800 万円、企業債元金の償還金 7 億 100 万円。総支出額は 26 億円。資本的収支不足額は 10 億 2,100 万円。

減価償却費 8 億 700 万円、繰越利益剰余金 1 億 7,300 万円、前年度からの繰越工事資金 4,100 万円などの内部留保資金で補填している。

業務の状況について

給水人口は減少しているが給水戸数は増加というねじれ現象が生じている。

配水量は昨年度と比してプラス 1%。これは 1 月 25 日に発生した凍結災害による影響。

有収率については、前年度と比して 1.5%の減少。

経営状況について

給水収益は昨年度と比してマイナス 1,436 万円、0.5%の減少となった。26 年度が記録的な冷夏により収益が大変落ち込んだ年であった影響もあり、27 年度の減少はわずかとなった。

資本的収入及び支出について

企業債の借入はここ 3 年間で 11 億～13 億円を推移。建設改良費は

16 億～18 億円程度を推移。企業債償還金は少しずつ減少しており、昨年度と比して 14.3%のマイナスになっている。

利益剰余金の推移について

減債積立金 3,130 万円積立てた結果 1 億 5,040 万円となっている。建設改良積立金はなし。その他として水源涵養林取得積立金として 2,949 万 5 千円。最終的な繰越利益剰余金は 13 億 8,724 万円となっている。

公営企業に係る経営比較分析について

給水人口 15 万人以上 30 万人未満で地下水、伏流水等を主な水源としている類似団体の平均値と本市を比較。

質疑応答

- 【住田委員】決算の概要、財務指標をあわせましてご説明いただきましたが、お分かりになりましたでしょうか。ご質問がありましたらどうぞ。
- 【新田委員】資料 6 ページにある管路経年化率で昨年度と比べると約倍になっていますが、これはどうしてですか。凍結の等の関係もあったのでしょうか。
- 【湯崎補佐】米子市は口径 50mm 以下を配水細管と呼んでおり、今までは精査をされておりませんでした。27 年度にそれらを精査した結果、26 年度と 27 年度の数字が変わってきています。中身的に何かが大きく変化してということではなく、もととなる資料を整理して計算し直したということです。
- 【新田委員】計算し直したという理由は何ですか。
- 【湯崎補佐】24 年度まで口径 50mm 以下のものを固定資産という位置づけをしておらず、各年費用として落としていくという処理をしていた。しかしこの口径 50mm 以下のものに関しても 24 年度以降、固定資産として位置づけをしたことによりこの数値になりました。
- 【八尾委員】導送配水管というのは井戸からの全ての管ということですか。
- 【湯崎補佐】導水管というのが水源地の井戸から入る管でありまして、送水管というのが配水池から配水池へ送る管などという位置づけです。
- 【八尾委員】そのうち 26 年度で言うと 6.76%が法定耐用年数を超えたということですね。

- 【湯崎補佐】導水管、送水管、配水管全てが対象です。
- 【八尾委員】資料 6 ページ⑫の管路更新率というのは 6.76%のうちの 0.68%更新したという解釈でよろしいですか。
- 【湯崎委員】⑫の 0.68%というのは全ての管に対しまして何パーセント更新できたかということです。
- 【中山委員】最終ページの減価償却についてですが、企業会計ならば残存価格というものがあると思うのですが、ここには残存価格というものは記載していないのですか。
- 【湯崎補佐】米子市水道事業の場合は取得価格の 95%まで償却しますの
で 5%残ります。分かりやすいと思い最終ページの図表を作ったのですが、逆にわかりにくくなってしまい申し訳ありませんでした。
- 【稲田委員】⑫の管路更新率で平成 27 年度は 100%のうち 0.71%ということで、これは 100 をこれで割ったら、更新年数になるのですかね。先ほど管の耐用年数は 40 年くらいとおっしゃったが、かなりこの数値は悪いと認識してよいですか。
- 【湯崎補佐】はい。
- 【稲田委員】会計決算書にあります企業債というのは 100 億くらいあるということですか。今期の収支の結果として利益が約 6 億に対して新規に発行している企業債が多く感じるのですが。これは何か事業を計画されていてこのような数字になったのですか。
- 【湯崎補佐】平成 27 年度末の企業債残高は 111 億あります。この借入れが多いというのは、配水池設置事業のこともありますし、現在進めております庁舎建設費用のこともあり 27 年度と 28 年度に関しましてはこの企業債が多い年になっています。
- 【稲田委員】これらの資料から見て過去の 3 年間のデータだけでなく、今後は中長期的に考えた将来の予測や計画などの見込みを是非作っていただきたいのですが。
- 【八幡副局長】皆さんご承知のとおり、平成 20 年度から 29 年度までの 10 年間計画、いわゆる水道ビジョンですけれども、これらに新たなる平成 30 年度から 39 年度の計画を現在作成中がございます。一方で、100 年スパンで資産管理をするといったアセットマネジメントも策定しており、決して将来予測を立てていない訳ではありません。
- また、先ほど申し上げた管路の耐震化率について分母 1,360km 程度ありますが、これが毎年更新できるのが 10km 程度

です。最近少しずつ布設単価が上がってきており、更新率が減っておりますが老朽管の更新化を急ごうとしますと事業費が必要になってきます。そうすると全体の事業費を圧迫するということになり、どこかで何かを節約するか新たにまた借りてくるのかということになりますので、やはりこれも全体の事業費のバランスをみながら進めて参りたいと考えております。

【住田委員】他にありますか。

【田中委員】管種としてポリエチレン管やステンレス管などの耐震管も使用されていますが、水道の需要家としてやはり安心して水が使用できるのが一番だと思います。営業収益が減ってくる中ではあるのですが、安全でありながらコストの安い管材を使用してはどうかと思うのですが。

【松田次長】仰られるとおりでして、レベル2という震動は震度6強という地震をみているのですが、それに耐えうる耐震管ということで布設替を行っています。総延長は約1,360kmあり、更新率としては年間10km弱となっていますが、今後はアセットマネジメントと組み合わせながらより安価でレベル2の震度に耐えうる耐震管でありつつも100年寿命という管種を探しながら変えていく必要があるのではないかと思っています。現状では铸铁管の耐震型を主に変えています。小口径の50mm、75mmはすでに安価なポリエチレン管を採用していますので少しずつですが延長は延びております。そういった辺りが今後の課題になるかと思っております。

【住田委員】ステンレス管というのはどういったところに使われているのですか。

【松田次長】主にステンレス管は配水池設置事業でもお示ししているように水管橋ですとか、橋梁に添架するようなところに使っています。

【住田委員】他に質問はありますか。

【八尾委員】年々収入が減っているにもかかわらず、経常収益が上がってきているということは何か他に経営努力をしておられるということですか。

【湯崎補佐】経常収益比率の方は少しずつ良くなってきました。収入の方は減っているのですが、いろいろな費用を精査しながら努力しております。

【中山委員】平成27年度米子市水道事業会計決算書の7ページに無形固定資産とあるのですが、これは何でしょうか。

- 【湯崎補佐】これは水道局のパッキン☆マンというキャラクターの登録商標に関係するものです。
- 【住田委員】なかなかあれはいいものですよ。
- 【八幡副局長】直接パッキン☆マンはご覧になったことはございますか。
- 【中山委員】ありませんね。
- 【八幡副局長】いまどこかの現場に出ているのだと思いますが、審議会が終わる頃までに呼んでくれますので。
- 【吉居委員】鳥取県には大山に博労座があるようにかつて戦前は軍を中心とした軍馬や牛が多くいました。これらにはたくさんの水を要したと思うのですが、こういった潜在的な水需要は一度調べたことがありますか。農業は衰退してきていますが、こういった地域おこしのものが見つかれば、必ず水需要は増えると思うのですが。
- 【八幡副局長】もっと需要があるのか？ということでしょうか。
- 【吉居委員】農業でも水が要ります。いわゆるハイテクを駆使した大手のスーパーとかのそういった企業が出てくれば又違った面が出てくると思うのですが。
- 【八幡副局長】誘致があればですが。
- 【吉居委員】鳥取県の人口、そして米子市水道局の給水人口 18 万人が減って来る訳です。少子高齢化が進み節水機器が普及する中で、打開策として何をするかと。難しい問題ですが。
- 【八幡副局長】中長期のことも見据えながら計画を立てておりますので、その中で加味できるものがあれば検討してまいります。
- 【住田委員】他にありますか。
- 【新田委員】ペットボトルのよなごの水は今後どういった展開をしていくつもりですか。
- 【八幡副局長】きっかけは、平成 16 年に開かれたエコアジア会議で米子の水を PR しようという目的で作りました。タンク車の充填から運搬等を職員が行っていることから、今後の継続についても度々論議になるところもあるのですが、あくまで売り上げ目的ではなく、各会議があった際に使う目的で継続して現在も作っております。ふるさと納税の景品として提供もしております。
- 【新田委員】世界では水で戦争が起きるのではないかというくらい飲料水は大切にされています。そういった意味でギフト用の水としてどこかに委託するとか都会の人にもっとふるさとの水を届けるようなこととか、もっとよなごの水を PR していただい

ればと思うのですが。

【八幡副局長】今、ドラッグストアでは2ℓ入りの水が100円で売られています。一方で、よなごの水は高い水だと言われることもあります。美味しいけれど高いという意見を耳にする中、なかなか現実的には難しい面もあるかと思います。

【住田委員】ほかにありますか。

【稲田委員】会計決算書7ページの未収金という項目ですが、これは…この未収金とはどういうものなのでしょうか。

【湯崎補佐】主に水道料金になります。決算日が3月31日ということで水道料金の3月分は4月に入ってからの口座振替や収入になりますので、この決算書の3月末時点ですと未収金がこのような数字になります。

【稲田委員】安心しました。

【住田委員】他にありますか。

【吉居委員】水道料金として入ってくるこの財源を地元に戻元するやり方をぜひお願いしたいと思いますが。

【八幡副局長】事業費等いろいろ精査いたしまして検討させていただきたいと思います。

【住田委員】ほかにありますか。たくさんご意見を出していただきましたが、この辺りで平成27年度決算報告は締めさせていただきます。監査委員をしている手前、毎月水道事業の方は見させていただいておりますが、米子市の水道事業というのは市民にとりまして安心安全な水を常に豊富に供給していただきありがたいと思っております。米子市も同様ではあります。全国的にも給水量が落ちている中で、非常に職員の皆さんは経費削減などのコスト意識を常に持って仕事をされており、この収益を確保されているのだと思います。引き続き水の需要は伸び悩む中ですが頑張っていたいただきたいと思います。

(2) 配水池設置事業の進捗について

＜案件説明：次長兼施設課長 星野 修＞

現在事業の進捗率は99%ほぼ完成し、現場作業は終了している。南部配水池は10月26日、中方配水池は11月4日に供用開始をした。11月16日には竣工式を米子コンベンションセンターにて多くの列席者の中執り行った。

(3) 庁舎建設事業の進捗について

＜案件説明：次長兼施設課長 星野 修＞

現在工事は、基礎工事をしており完成は平成 29 年 6 月の完成を予定している。新庁舎の屋根部分には太陽光発電を設置する予定にしている。

質疑応答

【住田委員】続きまして、配水池設置事業の進捗及び庁舎建設事業の進捗についてご質問等はございますか。

【吉居委員】配水池は高いところに設置しておられますが、雷が落ちるようなことはないのですか。また人災としてのいわゆるテロといった小銃などでタンクを撃ち抜いた場合などの想定はしておられるのですか。

【星野次長】まず雷の件ですが、電気回路の方に防雷装置を設置しております。

【八幡副局長】配水池見学時に見られたかと思いますが、高い方にあります南部配水池の方には針金状のものが上部に被っております。これが防雷システムでして、下からイオンを放散して中和させることで雷を落とさない装置をあそこには設置しています。従って雷が来ても落ちることはありません。

続いて人災という側面ですが、例えば小銃で撃つと穴はあきますが、そこから亀裂が入って破裂するということは考え難いです。ただテロの規模にもよりますが、タンクは全て溶接で同じ材質を使っていますので、すぐに溶接して補修できるメリットもあります。一方で水道局としては自然災害の方に力を入れており、雨水洪水調節池というものが配水池の入り口にありまして、時間雨量 200mm に耐えうる構造でございます。自然災害はテロと違いましていつ起こるか分からないのでこちらの方は計画的に対応しております。またテロの手法に関してはいろいろなやり方が想定されますので費用対効果をみながら検討していこうと思います。

【住田委員】ほかにありますか。

【中山委員】感想なんですけど、この間の竣工式で和田さんが司会されましたがさすがだなと思いました。

【住田委員】わたしも感心いたしました。ありがとうございました。

【吉居委員】庁舎建設ですが、既設の調整池の上などに太陽光パネルを

設置するような考えはあるのですか。

【八幡副局長】調整池などのコンクリート構造物は保守点検が必要となってくるので中々同時期の設置は難しいです。また、今回新庁舎の方は環境問題も配慮して太陽光パネルを設置するのですが、検討の際に配水池の方にもパネルを設置するかどうか案があがりました。しかし水源地は一般的に立入ができないのでそういった面も加味しながら今後の検討材料としていきます。

【吉居委員】わかりました。ぜひ頑張ってください。

【住田委員】ほかにありますか。

【祝部委員】太陽光パネルはどこメーカーですか。

【八幡副局長】製品ですよ？仕様がいま手元にはないので確認してからお答えさせてください。パネルは発電量の割合が各メーカーによって違っており、局が提供できる必要面積に見合ったメーカーを選定させていただいております。また、太陽光を設置します虎亀電気さんは設置することで売電収入を得るのですが、私どもは屋根をお貸しして年間の設置料を得るというシステムになっております。

【住田委員】他にございますか。

<事務局より>パッキン☆マンの紹介

<パッキン☆マン登場>

【住田委員】そうしますと本日3つの議題につきましてひと通り審議していただきましたが何か他に皆さまご意見等がございますか。

事務局の方は何かございますか。

【事務局】ありません。

【住田委員】ではこれもちまして本日の審議会は閉会とさせていただきます。